



2019年2月14日

各 位

会 社 名 日本和装ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 道面 義雄
 (コード番号：2499 東証第二部)
 問合せ先 管理本部長 高梨 宏史
 (TEL. 03-5843-0097)

「特別利益の計上に関するお知らせ」の変更および
2018年12月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は2018年11月13日に発表した「特別利益の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」について、一部内容を変更し、下記のとおり、特別利益ではなく、営業外収益として計上いたしましたのでお知らせいたします。あわせて、2018年11月13日に発表いたしました2018年12月期(2018年1月1日～2018年12月31日)の通期業績予想と実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上について

当社は2018年11月13日に発表いたしました「特別利益の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」の中で、57百万円を特別利益として計上することとしておりましたが、監査法人との協議を重ね、慎重に判断した結果、営業外収益として計上いたします。

2. 2018年12月期通期連結業績予想数値との差異(2018年1月1日～2018年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,450	590	530	364	39.85
実績値 (B)	5,659	683	673	414	45.55
増減額 (B-A)	209	93	143	50	—
増減率 (%)	3.8	15.8	27.0	13.7	—
(ご参考) 前期実績 (2017年12月期)	5,246	498	443	281	31.23

3. 差異の理由

2018年12月期につきましては、既存顧客向けの販売会や産地を巡るツアー等での売上が堅調に推移したこと等から、売上高は予想を上回る結果となりました。また、徹底したコストコントロールを行うことで、販売促進費等の上昇を抑えることが出来たことや営業現場においてオペレーションの効率化が図られたこと等も利益増加につながりました。なお、上記の中に1.の営業外収益を計上しております。

以 上